

しかし、国鉄の経営悪化に伴い、操車場最終型の貨物輸送からコンテナ輸送へと切り替えられたことによって操車場は不要となり、昭和59年に機能停止しました。その後、昭和60年には、その広大な操車場の跡地の一部を活用して新三郷駅が開業、昭和61年には正式に廃止されました。翌年には国鉄は、分割民営化しています。

近年では大型商業施設やマンション等ができるなど、急速に宅地・都市化が進みました。

昭和55年頃



写真で見る



吉川美南駅の建設

新三郷駅と同様に操車場の跡地を活用したのが吉川美南駅です。吉川美南駅は、地方自治体や地元住民、新駅周辺企業などの要望により設置される「請願駅」で、平成19年に東日本旅客鉄道(JR東日本)から新駅設置に向け正式協議を開始する回答があり、その後、覚書を締結したことから建設に向けた準備が始まりました。さまざまな協議を経て、平成21年から建設工事などに着手、平成24年に完成・開業を迎えました。

平成22年6月～8月



平成23年3月～7月



平成23年11月



平成24年3月(完成)

写真提供: 株式会社JR東日本建築設計

